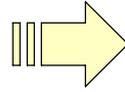


# ～ 鋼矢板護岸工詳細設計 ～

護岸設計は、流量を確保するため河道掘削を行うことを基本とし、断面検討・水理計算の検証を行い、施工性を考慮した鋼矢板護岸工とした。

施工前

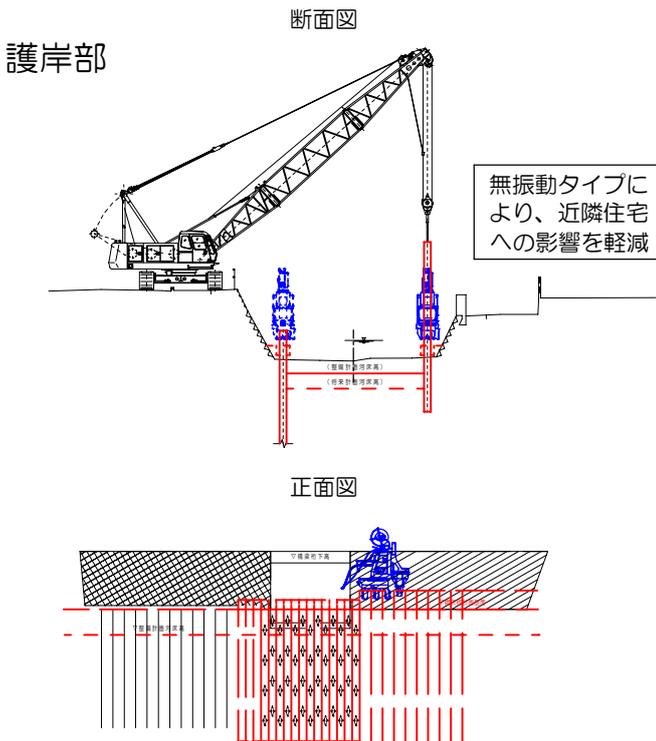


施工後

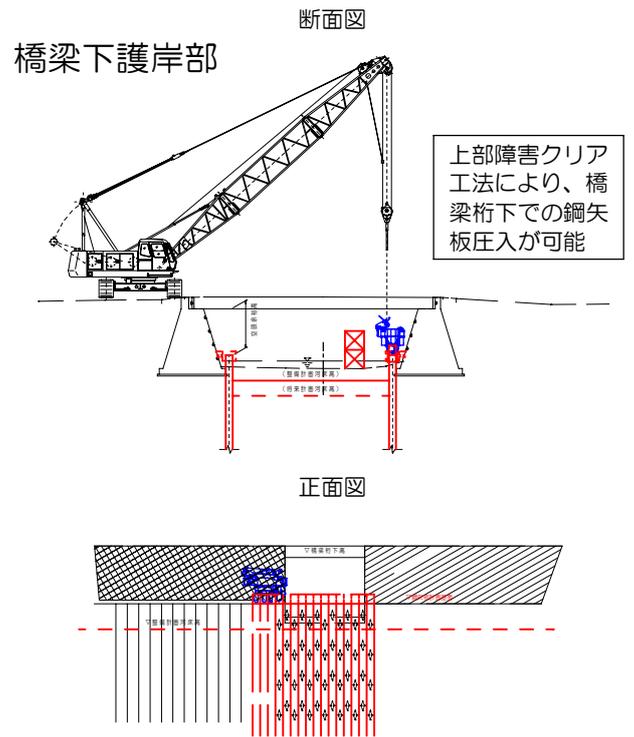


鋼矢板護岸工施工計画を立案するにあたり、計画箇所が住宅密集地のため、無振動タイプのサイレントパイラーを選定し、橋梁下は架空制約があるため、上部障害クリア工法を選定した。

## サイレントパイラー



## 上部障害クリア工法



あなたの街のこんなところを  
良くしています!!



株式会社

富士測量

事務所